



2026年6月

活動の足跡



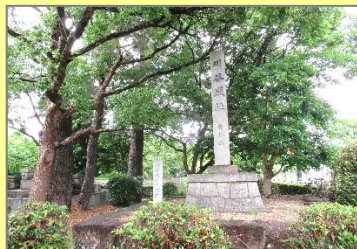
近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R8年6月度:定例会 「刈谷城跡&刈谷市歴史博物館」

R8年6月2日(火) 8:50 ~ 13:40

☆行程 JR大高駅(9:05) ~ 逢妻駅 ~ コミュニティバス ~ 亀城公園
ガイドさん合流 ~ 刈谷城跡 ~ 刈谷市歴史博物館見学(学芸員さん解説) ~ 帰途

活動日近くに台風発生ニュース。6月に台風?大丈夫だろうと思っていたら、段々と危うくなって来ました。6月定例会は、雨天を考慮して企画しましたが、台風については想定外でした。手配、予約のキャンセルを含めて、中止 or 催行、いづれ判断すべきか悩みました。台風の進路を時系列に整理して、「名古屋・刈谷の2日の天候は弱い雨」と判断し、前日に催行を決定しました。当日は予想通りの小雨。ガイドボランティアさんは3名も同行、熱心に案内していただきました。参加者全員でランチも楽しみ、無事に終了しました。(11名参加)



刈谷城跡&刈谷市歴史博物館

・刈谷城跡

小雨の刈谷城跡は、戦国から江戸、幕末へと続く時代の移り変わりを、いっそう情緒深く感じさせてくれました。今川家と織田家が対峙するこの地において、「水野信元」の先見の明が時代変えていったように思います。一つ一つの出来事が、複雑に絡みあって歴史は創られ、動いて行くことを改めて考えさせられました。未来を読み解く力、これは現代においても重要で、地域や国のリーダー達に期待するところです。ガイドさんの丁寧な説明があったからこそ、ただ景色を眺めるだけでは気づけない、様々な歴史の息吹を間近に感じることができたように思います。

・刈谷市歴史博物館

常設展の「歴史広場」では、刈谷の歩みが大局的に理解できるよう工夫されており、展示の一つ一つに新しい発見がありました。(縄文→戦国・江戸→近・現代)。特にこの地方だけでなく、日本の産業発展に大きく寄与した、豊田佐吉と豊田自動織機の歴史には、変わる時代の対応力を学ぶ点が多々あるように感じました。また、「お祭り広場」では、地域に息づく伝統や人々の熱気、文化の豊かさがダイナミックに伝わってきました。学芸員さんの深い知見に触れながら展示を巡ることで、単なる知識の蓄積にとどまらず、再発見があり、皆さんの見識が一段と広がるような時間を、過ごすことができたように思います。





本丸跡：建物は十朋亭（再建）

郷土の歴史を楽しむ会



2026年6月

活動のお知らせ

近藤比呂史 (30期) 080-3688-2590
奥野 幸泰 (31期) 090-6093-0183

R8年6月度定例会「刈谷城跡&刈谷市歴史博物館」

令和8年6月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“^わ輪・^わ和・^わ笑”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日 時 : 令和8年6月2日(火) 8:50~14:00

☆集 合 : JR大高駅前 8:50



参 考

- ・市バス地下鉄鳴子北発 7:55 → 大高駅着 8:43
- ・市バス名鉄鳴海発 8:07 → 大高駅着 8:20
- ・市バス名鉄有松発 8:00 → 8:28
(緑巡回有松～藤田医科大学病院)
- ※ 各自バス路線を確認のうえお越しください

☆行 程 : 東海道本線岡崎行 9:05 発 → 逢妻駅着 9:16 → コミュニティバス (かりまる8) 9:30 発 → 刈谷市体育館・歴史博物館 9:33 着

9:40 刈谷城跡で刈谷ふるさとガイドさんと合流

→ 散策 (9:45~11:30) 刈谷城跡 (ガイド) & 刈谷市歴史博物館 (学芸員解説)

→ コミュニティバス移動 ~ ランチ会場 (新海 12:00~13:20) ~ 帰途

※費 用 : 資料代 100 円 ・ ランチ:新海 (会席弁当 1,980 円税込み) 自由参加
交通費:大高→逢妻 250 円 逢妻駅⇄歴史博物館 200 円×2 マナカ利用)

・ 参加入力締め切り : R8年5月26日 (ランチ予約のため)

